

## 京品ホテル闘争勝利 11.20 決起集会

品川駅高輪口の京品ホテルの廃業と全員解雇が強行され、1年以上経過しました。全国ユニオンは11月20日、芝公園において決起集会を開催し、京品ホテルの再開と労使紛争の解決を求めました。労働者に対する解雇は死を意味するもので許されるものではありません。JR総連・JR東海労もこの集会に参加し、一方的な強制解雇を許さず、共に闘うことをあきらかにしました。

この闘いは、黒字経営であった京品ホテルが、経営者の個人責任による借金のために、リーマン・ブラザーズがその債権を押さえ勝手に売買契約が作成されました。このことにより、何の責任もない従業員が一方的に全員強制解雇されました。まさに労働者無視の傲慢経営や人権、生存権、勤労権など憲法違反に対しての闘いなのです。

ところが、その後リーマンが倒産し、その債権がローンスター・ジャパンに移りました。しかし、そのローンスターもホテルを再建するどころか、債権の回収のためだけに血眼になっています。

私たちは、労働者が経営者のご都合で一方的に解雇することを断じて許しません。JR東海は、窃盗事件をデッチ上げて加藤誠二さんを解雇しました。また、傲慢経営は自らの利益と名声のためだけに会社や社員の未来を閉ざそうとしています。

私たちは、京品ホテルの仲間の闘いを我がものとしながら、共にホテルの再開・職場復帰に向けて闘います。

集会で挨拶する加藤共闘部長



傲慢経営者による労働者への  
一方的解雇を絶対に許さない!